
- 薄い空から - etc.

近江 駈

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

- 薄い空から - e t c .

【Nコード】

N4873BA

【作者名】

近江 駈

【あらすじ】

30作目。

収録作品：「薄い空から」「少年」「Dead end run」

薄い空から

薄い空から 雪が降る
私の怯えた 頭の上へ
墓に添えたる 花に似た
薄桃色の 雪が降る

白い狼 天仰ぐ
崖に群がる 灯りを見渡し
凍る涎を 振り乱し
牙を折り折り 天仰ぐ

私の屋根に 雪が降る
私の貧しい 心を囲う
父と母とに よく似たる
双子の屋根に 雪が降る

少年

大事にしていた雛鳥は
少しづつ肉が爛れて死んでいきました
僕らはただ 種が同じというだけで
飛ぶ空を選べはしないのです

ネオンで失明するくらいなら
砂漠の砂に眼球ごとくれてやる

目の前に象牙色の布
眩い人影
虚を突かれたような碧眼
寒空にこれ以上
晒されたくないんです

そこにいたのが僕だつてのが
運の尽きだつたね
わざわざ選んだとしたら
僕のほうが驚くけど

偽物じゃないってんなら
ここを住処にしなよ

もつこつちは心が擦り切れてんだ
悪いようにはしないさ

悪いようにはしないよ きつと

D e a d e n d r u n

ある瞬間を捉えるまでに
払える犠牲はあといくつ

一人静に沈んでる間に
過ぎ去る星はあといくつ

デッド・エンド・ラン

反りの合わない同居人が
わめきやむまであと何年

手がちぎれるか不感症になるか
見極めるまであと何年

デッド・エンド・ラン

僕は世に言う緩衝材

ありがたいことに

前線に望まれはしない

妄想で繰り返すチキンレース

デッド・エンド・ラン

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4873ba/>

- 薄い空から - etc.

2012年1月13日23時47分発行